

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 甲第 2222 号

Lower urinary tract complications in postoperative male high/intermediate type imperforate anus: Laparoscopy assisted anorectoplasty versus posterior sagittal anorectoplasty

男児高位/中間位鎖肛に対する腹腔鏡補助下肛門形成術および後方矢状切開法における下部尿路合併症に関する検討

藤原 憲太郎 (ふじわら けんたろう)

博士 (医学)

論文審査結果の要旨

本論文は、男児の高位/中間位鎖肛に対する肛門形成術である腹腔鏡補助下肛門形成術と後方矢状切開法の、術後下部尿路障害に焦点を当てて、その合併症が術式により異なることを明らかにした臨床的に意義のある論文である。主な結果として、腹腔鏡補助下肛門形成術で後部尿道憩室が認められ、後方矢状切開法で尿道損傷や精嚢損傷が認められたことから、それぞれの術式の具体的なメリットやデメリットを整理し、術野の違いや、アプローチ法の違いにより、下部尿路障害の発生過程が異なることを考察している。その上で、患児の鎖肛病型により、術後下部尿路障害のリスクを考慮して、術式を選択することの有用性についても言及しており、単純な比較検討に留まらず、実臨床に繋がるものである。

よって、本論文は博士 (医学) の学位を授与するに値するものと判定した。